

あなたの街で 市長と語ろう

さまざまな市政の課題について、市民と市長が直接意見を交換する「タウントーク」。今回は、手稲区と白石区で開催された内容を紹介します。



タウントークに関するお問い合わせは、区役所(1階)の総務企画課が市民の声を聞く課☎211-2042へ。
内容は、市長のホームページ www.city.sapporo.jp/city/mayor でも公開していきます。

手稲区

・実施日/9月27日 ・会場/北海道工業大学 ・参加総数/約170人

お祭りで手稲の新しい文化を創造

ていね夏あかり実行委員会委員長

おおがき なおあき
大垣 直明さん

地域の子供たちを中心に数千個のちょうちんを作り、明かりをともしお祭り「ていね夏あかり」を17年間続けています。このお祭りを通して、手稲の新しい文化づくりを行っています。



市長から

わたしも今年、てっぽく広場で開催された「ていね夏あかり」に参加しました。このお祭りが子供たちとの交流を深めながら発展し、地域に根付いているのはうれしいことです。ぜひ、今後も続けてほしいです。

雪置き場として空き地の有効利用を

北海道工業大学学生

さとう そう
佐藤 壮さん

市民用の雪置き場がほしいという要望が地域から出ています。空き地などを有効に利用することで、住民の力による雪対策ができるのではないのでしょうか。



市長から

地域の雪を地域で処理するために、一定のルールの下、公園などを雪置き場として利用する試みが全市で始まっています。この取り組みを通して、地域の要望にできる限りお応えしていきたいです。

白石区

・実施日/10月7日 ・会場/北白石地区センター ・参加総数/約100人

市への寄付はどのくらい集まっていますか

北白石地区

たばた りゅうじ
田畑 隆二さん

まちづくり活動団体に助成を行う、市の新たな制度「さぼーとほっと基金」は、現在どのくらいの金額が集まっています、どのような団体に助成をするのでしょうか。



市長から

4月から始まったこの基金は、市民活動を市民みんなで支え合うためのものです。現在約2,800万円※の寄付をいただいています。寄付金の配分先は、基金登録団体からの申請を基に、審査の上で決定します。



地下鉄駅をまちづくりの拠点に

東白石地区

むとう まさかず
武藤 征一さん

わたしが利用する地下鉄の駅周辺にぎわいがありません。駅の周りを商業地域にすることなどで、さらなる地域の活性化が望めるのではないのでしょうか？



市長から

地下鉄駅周辺が地域の核となるまちづくりを進めることは、とても大切な視点です。中心部まで行かなくても用が足せるようになっていくことが、まちづくりの基本ですので、いただいたご意見は今後に生かしていきたいと思えます。

※10月7日時点での金額。11月21日現在、3,060万9,500円